

2023年11月20日

各位

ジャパン建材株式会社

## 商品ごとの炭素貯蔵量の表示開始についてのお知らせ

ジャパン建材は、環境貢献度の“見える化”の一環として、一部の木質商品について、商品ごとの炭素貯蔵量を伝票等に表示します。炭素貯蔵量を表示することで、環境貢献度を目に見える形で分かりやすくお客様と共有します。

炭素貯蔵量は、林野庁の「建築物に利用した木材に係る炭素貯蔵量の表示に関するガイドライン」\*に基づき算出されるもので、木材利用が地球温暖化防止に寄与していることを具体的に対外的に示す指標の1つです。木材は森林が吸収した炭素を貯蔵しており、国内における木材の主な用途である建築物等において利用を進めることは、「都市等における第2の森林づくり」として、カーボンニュートラルへの貢献が期待されます。

(\*参照：<https://www.rinya.maff.go.jp/j/mokusan/mieruka.html>)

商品あたりの炭素貯蔵量 (t-CO<sub>2</sub>)

$$= \text{商品の体積 (m}^3\text{)} \times \text{木材の密度 (t/m}^3\text{)} \times \text{木材の炭素含有率} \times 44/12$$

※炭素貯蔵量は、ジャパン建材が林野庁ガイドラインに基づき独自に算定するものであり、その数値が保証されるものではありません。

ジャパン建材は多種多様な合板・木材を扱っていますが、炭素貯蔵量を算定する対象商品を現時点ではJ-GREEN製品および森林認証材に限っています。これらは適切に管理された森林由来のものなど環境に配慮された木質商品であり、当該商品を拡販することは地球温暖化防止への貢献に繋がります。

J-GREENは、適切に管理された森林資源の利用を促進し、環境配慮型製品を普及することを目的に設立された、ジャパン建材の合板・木材製品のプライベートブランドです。J-GREENでは、環境や社会問題に配慮するため、また国内外の森林資源を有効活用するために、以下の3つの材を積極的に扱っています。

- ① FSC®、PEFC、SGECなどの森林認証材
- ② 調達経路を独自に調査し、合法性が証明された材
- ③ 国内で取れた原木を使用している国産材

このたび開始したJ-GREEN製品および森林認証材の炭素貯蔵量の表示は、お客様を含めサプライチェーン全体で積極的に森林資源を活用し、地球温暖化防止に繋げていくことを示す指標の1つとなります。ジャパン建材は、本取組みを通して、業界全体の更なる環境意識向上に貢献できると考えています。

以上